

新医療センター整備基本計画（案）について

令和7年6月

奥州市 健康こども部・医療局経営管理部

はじめに（協議の趣旨）

昨年秋の中間案に対する意見を踏まえて修正案をとりまとめ、令和7年4月の市民説明会や5月のパブリックコメントで意見をいただきました。

今般、その結果を踏まえた計画案をとりまとめましたので、その内容と今後の進め方を説明するものです。

1 これまでの経過（主なもの）

【令和6年】

- 8月2日 地域医療懇話会で新医療センター整備の考え方について説明
- 8月21日 市議会全員協議会で「新医療センター整備基本計画中間案」を公表
- 9月中旬 中間案に関する市民説明会を開催（9月10日～21日、5地域6回）
- 9月19日 胆江圏域地域医療連携会議（奥州保健所主催）で医療関係者へ中間案の説明

【令和7年】

- 1月28日 胆江圏域地域医療連携会議で医療関係者へ基本計画の修正方針の説明
- 2月24日 市民理解を深めるための「新医療センターに関するシンポジウム」を開催
- 4月後半 基本計画の修正内容に関する市民説明会を開催（4月17日～23日、5地域6回）
- 5月2日 基本計画の修正案に対するパブリックコメントの実施（6月2日まで）

2 地域医療奥州市モデルと新医療センターの概要

【奥州市モデルの策定】

地域医療に関する課題解決のため、市立、県立、民間でネットワーク型の体制を構築しようとするものです。

【新医療センター整備の狙い】

単なる水沢病院の建替ではなく、ダウンサイジングし、新機能を追加した複合施設を整備するものです。

(1) 総合水沢病院を時代に即した病院へ転換

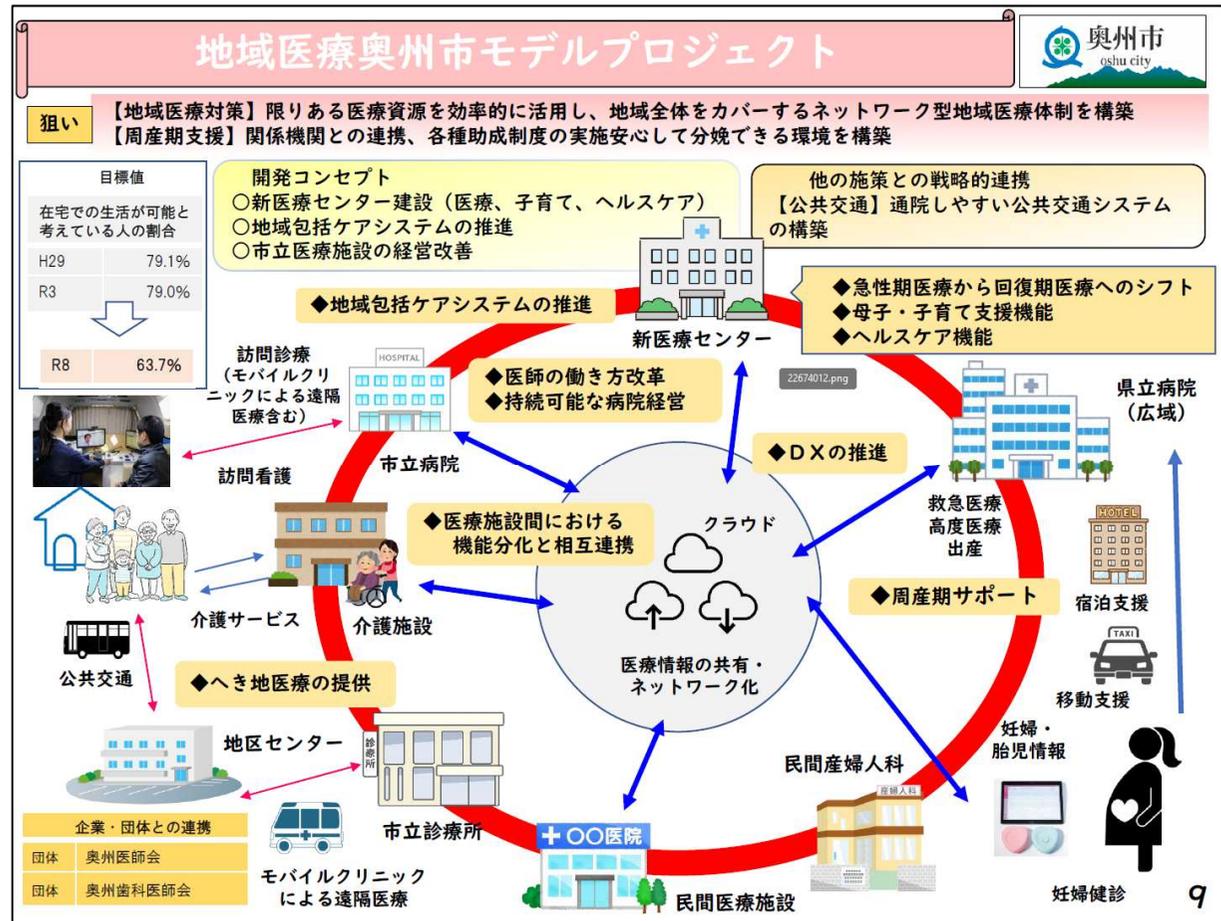
⇒ 多機能型の医療、高齢者救急、感染症対策など

(2) 妊産婦サポート、子育て支援、健康寿命を伸ばす取組等の推進

⇒ 産後ケア、フレイル対策など

(3) 地域医療行政の推進拠点化

⇒ 地域包括ケアの推進、情報・人のネットワークの強化など



市は、いのちと健康を守り支える「地域の医療コミュニケーション拠点」の整備・検討を進めています。「病院施設」と妊産婦サポートや子育て支援、ヘルスケア等を担う「コミュニティ施設」とを一体的に整備し、単に治療するだけでなく、地域全体の健康を支え、まちを元気にする施設を目指します。

3 市民説明会（令和7年4月）の状況

（1）開催状況

日時	会場	参加者数
17日（木）18:30～	胆沢	47名
18日（金）18:30～	江刺	43名
19日（土）14:00～	水沢	50名
21日（月）18:30～	前沢	26名
22日（火）18:30～	衣川	22名
23日（水）18:30～	水沢	49名
計		237名

※ 当日は、YouTubeでもライブ配信しています。



〔4/19 水沢会場の様子〕

（2）主な意見

【施設の機能に関するもの】

- ・ 分娩機能の設置を希望。若者定住にも繋げてほしい。
- ・ 地域包括ケア、フレイル対策に期待。完成が楽しみ。
- ・ 在宅医療は民間が手薄なため公立に期待している。
- ・ 小児科と夜間診療の充実を。

【計画を疑問視又は不安視するもの】

- ・ 医師確保に確実性がなく将来が不安（同意見多数）
- ・ 資金収支見通しは非現実的又は10年目以降が心配。
- ・ 在宅医療は今出来てないことが将来できるのか。
- ・ 決して建設反対ではないが、今の計画では甘い。

【計画策定の進め方に関するもの】

- ・ 医師確保は市のみならず医師会や市民も協力すべき。
- ・ 将来の地域医療について医師会と共に考えるべき。
- ・ 医師会は市に代案を提案し、市民にも示してほしい。
- ・ 財政負担は大きいですが、市立は必要。早期着手を。
- ・ 圏域内での市立施設や県病の在り方の協議が先では。
- ・ 計画案の段階で医師会との協議を。決定はその後で。

⇒ **慎重さを求めるもの、推進を求めるもの両方の意見が出され、また、医師会と対立しないよう求める意見も目立ちました。**

4 パブリックコメントの実施状況

(1) 実施状況

- ・ 募集期間 5月2日～6月2日
- ・ 周知方法 広報5月号、市ホームページほか
- ・ 意見件数 37人、103件（詳細別紙）

(2) 主な意見

【施設の機能に関するもの】

- ・ 民間で足りないところを補ってほしい。
- ・ 産科設置の努力をしてほしい。
- ・ 時代に即した病院への転換は必要不可欠。
- ・ 在宅医療の必要性高い。介護と併せて訪問診療等の分野の強化を図るべき。

【施設の運営や体制に関するもの】

- ・ 県立病院の統廃合を踏まえた検討、県立病院との統合や連携を検討すべき。
- ・ 医師確保に最大の努力を。
- ・ 市立医療施設の集約や統合等の検討が必要。

【施設の規模や整備場所に関するもの】

- ・ 水沢公園への整備を望む。

【計画を疑問視又は不安視するもの】

- ・ 必要性や財政面など現実的な計画にすべき。
- ・ 医療・保健・福祉の連携に一体整備は必須か？

【計画策定の進め方に関するもの】

- ・ 救急対応の継続など市立病院必要。早期に実現してほしい。
- ・ 行政、医療関係者、市民も交え協議が必要。
- ・ 医師会や有識者意見等の意見を踏まえて検討すべき。

【その他】

- ・ 将来も民間医療機関が維持されるのか不安。
- ・ 奥州市モデルを現状に即し再検討すべき。
- ・ 在宅医療の具体の協議を即やるべき。

⇒ 頂いた意見は、市民説明会と概ね同じ傾向でした。

5 主な意見に対する市の対応方針

(1) 医師確保に確実性がない。やはり確保は難しいのではないか。

- ・以前は大学で地方病院に医師を派遣できていましたが、平成16年の医師臨床研修制度の改革以降、どの病院でも確実な医師確保は困難な状況で、これは当市だけの話ではありません。
- ・そのような中、市では、県や国保連とも連携した医師養成事業による医師確保のほか、岩手医科大学や東北大学に加え、東北医科薬科大学との連携を強化するなど、医師確保の可能性を高める取組を着実に進めております。
- ・医師不足を理由として必要な医療の提供をやめるわけにはいきません。医師確保が難しい時代だからこそ、コンパクトかつ時代に即した新たな病院の整備が必要だと考えます。

(2) 収支見通しが甘い。安定経営の持続は無理ではないか。

- ・少なくとも最初の10年は、持込み資金に頼ることなく運営できる見通しです。その間に、診療報酬の変化等を見ながら、11年目以降の収支改善策を講じ、安定経営を持続させます。
- ・病院経営の厳しさは全国的で、経営に不安があるのは建替えせずとも同じです。水沢病院が担っている救急や感染症対策などの機能を引き継ぎ、さらに地域包括ケアシステム等を推進するための新病院は必要であり、課題があるとしても整備しないわけにはいきません。

(3) 市立医療施設の統合や県立病院との統合も検討すべきではないか。

- ・高齢化が進む2040年問題を見据え、水沢病院（又は新病院）とまごころ病院の2病院体制は必要です。また、衣川のへき地医療も継続が必要で、現行の5つの施設は残す方針です。
- ・施設は残しつつも、連携強化や組織体制の一元化などの効率化・最適化策は実行してまいります。近日中に検討組織を立ち上げ、外部意見も取り入れながら検討を進めてまいります。
- ・なお、県立病院は当圏域に必要で、それが無くなるとの前提での議論はできないと考えます。

5 主な意見に対する市の対応方針（つづき）

（４）疑問等が解消されるまで白紙撤回又は一旦凍結とすべきではないか。

- ・ 市民説明会等では、建設そのものへの明確な反対意見は少なかったものの、市の説明内容に対する疑問や不安の声を多くいただいております。
- ・ 他方、新病院の建設まで5年はかかりますし、2040年問題への対応や水沢病院の老朽化・耐震強化は待ったなしの課題です。
- ・ さらに、施設の整備費や維持管理費なども、より詳細な設計作業を行ってみないと正確な数値がわかりません。
- ・ これらの事情を踏まえ、現在出されている疑問点や不安点は、次のステージである基本設計の段階でさらに検証することとし、その結果を踏まえて疑問等の解消を図ってまいります。

（５）医師会との協議が整っていないのではないか。

- ・ 2040年問題や水沢病院の老朽化等が喫緊の課題である一方、指摘された在宅医療などの課題解決には時間がかかりますが、この議論は施設整備と並行して進めることが可能です。
- ・ このため、整備事業は前進させつつ、あわせて、在宅医療や不足する診療科への対応など、地域医療の各種課題に取り組んでいくこととし、地域の医療関係者との協議・連携を進めてまいります。
- ・ また、その協議等の中で新医療センターが担うべき部分があれば、それを整備事業に反映させるなど、地域医療の在り方と施設機能との整合を確保します。

6 基本計画（案）の修正状況

中間案（R6.9）	修正案（R7.4）	パブコメ等を踏まえた修正
<p>【第1部 全体基本計画】</p> <p>(1) 新施設の機能の詳細を11のテーマ別に整理。</p> <p>(2) 建物面積は、病院分8,000㎡程度、コミュニティ施設分2,800㎡程度を基本とする。</p> <p>(3) 整備場所は、水沢公園陸上競技場とする。</p> <p>(4) 整備手法はE C I方式（※）を採用する。</p> <p>(5) 整備スケジュールとして、令和11年秋の開院を目指す。</p> <p>(6) 概算事業費は最大96.0億円、市民の実質将来負担額は29.2億円（1年あたり1億円）と見込む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※ E C I方式は、実施設計の段階から施工者が技術協力者として関与する方式。設計事務所による品質管理のもと、施工者の技術力を設計に反映できるほか、あらかじめコスト・工期に関する目処をつけることができる。</p> </div>	<p>⇒余裕分を削り面積を5%カット。病院分は7,600㎡程度、コミュニティ施設分は2,660㎡程度に縮小。</p> <p>⇒開院の時期は、令和12年秋に修正。</p> <p>⇒直近の実績等を反映し、概算事業費を109.7億円、市民の実質将来負担額を34.2億円（1年あたり1.1億円）に増額修正。あわせて道路整備等の関連費用も明示。</p> <p><追加事項></p> <p>⇒基本構想（R6.1）の内容を再掲。</p> <p>⇒「整備推進のステージ管理」の項目を追加し、基本設計などの各ステージでも内容を検証する。</p>	<p>⇒「在宅医療の充実」の項目に「在宅医療体制の強化を図るため、地域の医療関係者との協議、連携を深めていく」旨を追加。</p> <p>⇒基本設計の時期などを微調整。</p> <p>⇒各ステージでの検証を通して市民の疑問や不安を払拭していくことを、あらためて明記。</p>

6 基本計画（案）の修正状況（つづき）

中間案（R6.9）	修正案（R7.4）	パブコメ等を踏まえた修正
<p>【第2部 病院施設の基本計画】</p> <p>(7) 診療科は、水沢病院の診療科を引き継ぎつつ、総合診療科とリハビリテーション科を新設。</p> <p>(8) 病床規模は、一般病床80床とするが、余裕をもたせ100床程度のスペースを確保。</p> <p>(9) 病棟部門、外来部門、手術部門、放射線部門など16部門ごとに、各部門の基本方針を提示。</p> <p>(10) 経営の基本姿勢、水沢病院の赤字脱却、医師等の確保、市立医療施設の最適化の考え方を提示。</p>	<p>⇒診療科は、内科、総合診療科、外科、小児科、整形外科を必須とし、その他は、医師確保状況を見ながら検討する。</p> <p>⇒病床規模は、一般病床80床は変えないが、20床相当の余裕は不要と判断し、そのように修正。</p> <p>⇒基本方針に加え、部門機能・規模の概要及び運営概要を追記。</p> <p>⇒医師確保について、東北医科薬科大学との連携による確保安定化策を追記。</p> <p>⇒市立医療施設の最適化に向けた現時点の考え方を追記。</p> <p><追加事項></p> <p>⇒新病院の資金収支の見通しを追記。病床縮小や地域包括医療病棟への転換等により開業後10年間は資金の維持ができる見通し。</p>	<p>⇒市立医療施設の最適化等の検討に当たっては、外部の医療関係者にも参画していただくことを明記。</p>

6 基本計画（案）の修正状況（つづき）

中間案（R6.9）	修正案（R7.4）	パブコメ等を踏まえた修正
【第3部 コミュニティ施設の基本計画】 (11) 全体計画と4つの部門別の基本方針を提示。	⇒基本方針に加え、部門機能・規模の概要及び運営概要を追記。	(大きな修正なし)

※ 今回の修正では、上記のほか、軽微な文言等の修正を行っています。

7 計画策定に関する市の考え

新医療センター整備基本計画（案）は、これまで様々な機会を通じてご意見をいただき、前述したような修正を加えてまいりました。

これまでの取組により、基本計画に対する意見はほぼ出揃ったと考え、概ね今回の修正内容のとおり決定したいと考えています。

なお、施設整備に対する疑問や不安の声が根強くあることは承知しておりますが、それらは、次の基本設計のステージで払拭できるよう、今後も必要な説明に意を尽くしてまいります。

【参考】基本設計等のスケジュール

6月中に計画決定し、関連予算が確保できた場合は、基本設計を次のように進める予定です。

※ 関連予算の補正措置は、6月定例会に追加提案する予定です。

業 務	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基本設計	発注準備			設計者選定			設計作業（～令和9年1月）		
その他業務		用地測量業務		測量設計業務（～令和8年8月）					
			地質調査						
支援業務	設計者選定業務支援・設計監理支援								
			← 医療機器等調達支援（現有機器調査ほか）						

【関連スケジュール（予定）】

事 項	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
地域医療懇話会				●			●			
				↑			↑			
				進捗報告や所要の説明など						
市広報への記事掲載	●									
	←	整備基本計画に関する特集記事								